教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 看護学科　　資格： 准教授　　氏名： 松井　菜摘

研究分野	研究内容のキーワード
公衆衛生看護学	高齢初産婦の妊娠期・育児期における体験、産後の女性における抑うつ症状に対する気づきと対処行動、乳幼児を持つ父母のしつけの認識と実際
学位	最終学歴
博士（看護学）	武庫川女子大学大学院看護学研究科博士後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
1.保育所及び認定こども園等で勤務する看護職の保育保健活動（査読付）	共	2025年1月（掲載予定）	母性衛生，65巻4号，頁未定	保育所及び認定こども園等に勤務する看護職の保育保健活動の実態を明らかにするために、全国保育園保健師看護師連絡会員を対象として郵送法による無記名自記式質問紙調査を行った。保育保健活動の担当割合は、気になる子や障がい児，被虐待児への対応、その保護者への関わりや関係機関との連携に関する項目において低いことや担当していても自信がない者も一定数いること等が明らかとなった。一人配置が多く、職場で同じ看護職から学ぶことが難しいことが推察される中で研修への参加経験がない者もおり、活動内容に応じて研修が受けられる体制づくりや母子保健との連携が重要であることが示唆された。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者：松井 菜摘、和泉 京子、岩佐 真也
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.高齢者対象の西宮市健康ポイント事業が継続参加者の運動習慣に及ぼす効果	共	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会（札幌）	高齢者対象の西宮市健康ポイント事業の継続参加者の運動習慣の変化を事業前後で比較し、事業の効果評価を実施することを目的とし、事業に2年間事業に継続参加した者が、事業前と事業2年目終了後に回答した質問紙調査の結果を分析した。事業の取り組み状況は、日常の活動量のアップ、外出機会の増加、歩数・体組成の変化の確認の順に多かった。事業の前後変化は、事業前に比べ事業後は、後期高齢者の質問票合計点の平均が低く、一日の歩行時間が長

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				く、定期的な運動の頻度が高く、有意差があった。インセンティブ付き保健事業を通して、高齢者は身体活動量の増加を意識し、定期的に運動する習慣ができ、フレイル予防の可能性があることが示唆された。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：金谷志子、和泉京子、松井菜摘、枝澤真紀、小坂かおり、向井沙織、福田典子
2.通いの場に参加する高齢者の特徴（第3報）フレイルの関連要因	共	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会（札幌）	通いの場に参加する高齢者の特徴を実施形態別に明らかにすることを目的とし、大阪市A区で実施されている通いの場に参加する高齢者を対象として無記名自記式質問紙調査を行った。介護予防体操に参加している者のうち、フレイル・プレフレイル状態にある者が8割と多いことから、フレイルの者および予備軍の介護予防の場となっていることが明らかになった。また、独居であること、疾患があること、身体を動かす運動や活動を頻繁にはしていないことがフレイル状態に関連しており、体操の場だけでなく自宅などでも意欲的に体を動かす運動や活動を促すことがフレイル予防につながる可能性がある。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：尾原ゆり子、金坂広美、岡田七海、枝澤真紀、松井菜摘、和泉京子、金谷志子
3.通いの場に参加する高齢者の特徴（第2報）介護予防行動の関連要因	共	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会（札幌）	通いの場に参加する高齢者における介護予防行動の関連を明らかにすることを目的とし、大阪市A区で実施されている通いの場に参加する高齢者を対象として無記名自記式質問紙調査を行った。最終学歴が高卒以上、暮らし向きにゆとりがある者は、介護予防行動に取り組んでいること、生きがいを感じている者や近所付き合いが多く親しくつきあっていること、相談相手に友人・専門職がいることが介護予防行動を促進する要因となることが示唆された。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：岡田七海、金坂広美、尾原ゆり子、枝澤真紀、松井菜摘、和泉京子、金谷志子
4.通いの場に参加する高齢者の特徴（第1報）実施形態別の実態	共	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会総会（札幌）	通いの場に参加する高齢者の特徴を実施形態別に明らかにすることを目的とし、大阪市A区で実施されている通いの場に参加する高齢者を対象とし、無記名自記式質問紙調査を行った。実施形態ごとに参加者の背景は異なるものの、健康状態や取り組んでいる介護予防行動の数に違いは見られなかった。これらの通いの場は、様々な背景を持つ人が参加し、介護予防に取り組むことができる場となっていることが示唆された。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：金坂広美、尾原ゆり子、岡田七海、枝澤真紀、松井菜摘、和泉京子、金谷志子
5.母子健康手帳交付時に来所した父親の来所動機と育児参加意欲	共	2024年1月	第12回日本公衆衛生看護学会学術集会（北九州）	母子健康手帳交付時に来所した父親の来所動機と育児参加意欲を明らかにし、子育て世帯への支援のあり方を検討するため、無記名自記式質問紙調査を行った。結果、母子健康手帳発行時に来所した父親は育児に積極的に参加したいという気持ちがあること、第1子の父親は妊娠・育児の情報を知りたいという理由で来所している人が多いことが示された。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：上野輝実、尾原ゆり子、岡田七海、松井菜摘、和泉京子、枝澤真紀
6.高齢者対象の西宮市健康ポイント事業の事前評価（第2報）運動習慣と準備状況の特徴	共	2023年11月	第82回日本公衆衛生学会総会（つくば）	西宮市では2021年度から介護予防および健康寿命の延伸を目的とし、70歳以上の高齢者を対象に活動量計・スマートフォンアプリを使用した健康ポイント事業に取り組んでおり、今回は参加者の運動習慣と準備状況を評価するため、事業前に実施した自記式質問紙調査の分析を行った。参加者は、運動習慣がない者が半数を占め、また運動に関する関心を持ち、運動習慣の改善に取り組む意向を示す者が半数であり、本事業が予防行動の契機となることが期待される。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：金谷志子、小坂かおり、向井沙織、吉本果、福田典

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				子、和泉京子、松井菜摘、枝澤真紀
7.高齢者対象の西宮市健康ポイント事業の事前評価(第1報)　事業参加者の健康状態の特徴	共	2023年11月	第82回日本公衆衛生学会総会（つくば）	西宮市では2021年度から介護予防および健康寿命の延伸を目的とし、70歳以上の高齢者を対象に活動量計・スマートフォンアプリを使用した健康ポイント事業に取り組んでおり、参加者の健康状態を評価するため、事業前に実施した自記式質問紙調査の分析を行った。インセンティブ付き保健事業の参加者は他の高齢者保健事業と比べ、男性の参加割合が高く、男性の保健事業参加の契機となることが考えられる。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：小坂かおり、吉本果、向井沙織、福田典子、和泉京子、金谷志子、松井菜摘、枝澤真紀
8.在宅医療・介護連携推進事業を活用したコロナ禍の命を守る取り組み	共	2022年12月	第11回日本公衆衛生看護学会学術集会（仙台）	在宅療養者を適切な医療に繋げ重症化を防ぎ、命を守ることを目的とし、在宅医療・介護連携推進事業の仕組みを活用した大阪市の「旭区コロナ地域支えあい訪問事業」の事業化について、在宅療養者を早期に適切な医療に繋ぎ、重症化防止に寄与し命を救う活動ができたこと等の報告を行った。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：尾原ゆり子、上野輝実、和泉京子、枝澤真紀、松井菜摘
9.母子健康手帳交付時のペア来所と産後における父の育児参加や母の育児状況・健康状態との関連	共	2022年12月	第11回日本公衆衛生看護学会学術集会（仙台）	子育て世帯と関わる最初の機会である母子健康手帳交付時の父の同行と、産後における父の育児参加や母の育児状況・健康状態の関連を明らかにするため、研究を行った。母子健康手帳交付時に同行していても、父は必ずしも産後の育児に十分参加しているわけではないこと、特に高齢初産婦は、父が同行している人の方が産後のネガティブな感情が起こりやすいことが明らかになった。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：上野輝実、尾原ゆり子、松井菜摘、和泉京子、枝澤真紀
10.家族介護者の健康支援家庭訪問の評価 第2報 保健師による健康支援の短期評価	共	2022年8月	第25回地域看護学会学術集会（富山）	家族介護者へ健康支援の家庭訪問を実施し、その評価をすることより、家族介護者への生活習慣病予防に向けた支援のあり方を検討するため、自記式質問紙調査にて家庭訪問の承諾があった者を対象とし、家庭訪問にて健康支援と面接調査を実施した。訪問による健康支援により体調不良の改善や健診受診行動、生活習慣の改善に一定の効果があったことが明らかになった。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：金谷志子、和泉京子、松井菜摘、枝澤真紀
11.家族介護者の健康支援家庭訪問の評価 第1報 家族介護者の健康状態と健康行動	共	2022年8月	第25回地域看護学会学術集会（富山）	家族介護者の健康状態と健康行動を明らかにし、家族介護者への生活習慣病予防支援のあり方を検討するため、自記式質問紙調査を実施した。健診受診や生活習慣全般にわたり支援が必要な者が多く、要介護者のみならず家族介護者への健康支援を行うことの重要性が示唆された。 本人担当部分：共同研究につき、抽出・ページ特定不可能 共同発表者名：和泉京子、金谷志子、松井菜摘、枝澤真紀
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
６．研究費の取得状況				
1.思春期の子と親のHPVワクチン躊躇とワクチン接種意思決定支援方略の開発と効果評価	共	2024年4月	科学研究費補助金（基盤研究Ｃ）令和6年度～令和9年度	思春期の子と親の定期予防接種であるHPVワクチン接種行動の現状と課題を明らかにする。明らかになった実態をもとにHPVワクチン接種の意思決定支援プログラムを開発し、その効果を評価する。 助成金：442万円 研究代表者：枝澤真紀 分担研究者：和泉京子、金谷志子、松井菜摘
2.産後の抑うつ症状に対する産婦の気づきと対処行動に向けた	単	2023年4月	科学研究費補助金（若手研究）令和5年度～平成8年度	抑うつ症状に対する産婦の気づきと対処行動の実際、さらに産後うつ傾向と関連を明らかにするため、産後にうつ傾向が見られた産婦、保健師を対象とした面接調査、および産後4か月の産婦全数を対

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
６．研究費の取得状況				
支援方略の開発 3.フレイル予防のための住民主導型地域活動の持続可能な活動モデルの開発	共	2021年4月	科学研究費補助金（基盤研究Ｃ）令和3年度～令和7年度	象とした自記式質問紙調査を行う。 助成金：325万円 研究代表者：松井菜摘 フレイル予防のための住民主導型地域活動の持続可能な活動モデルを開発することが目的である。研究計画は5か年計画で、第1段階で地域活動の実態把握と課題抽出、第2段階でプログラムの考案、第3段階でプログラムによる介入と効果の検証し、活動モデルを完成させる計画である。 助成金：416万円 研究代表者：金谷志子 分担研究者：和泉京子、川井多加子、松井菜摘、枝澤真紀

学会及び社会における活動等	
年月日	事項